

ふっさ 市議会だより

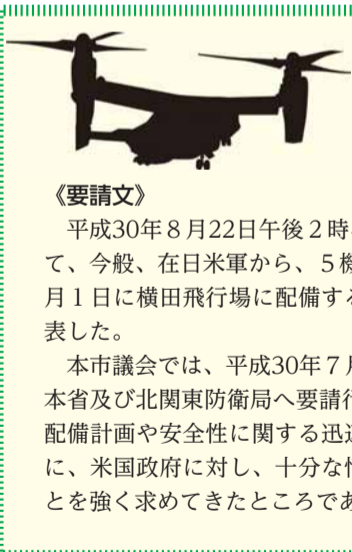
No.212 平成30年10月25日 発行/福生市議会
 〒197-8501 福生市本町5番地
 ☎042(551)1511(代表)
 ☎042(551)1523(直通)



▲福生市総合体育大会総合開会式後に行われた「福が生まれるラジオ体操」の様子（10月8日 中央体育館にて）

平成29年度各会計決算を認定 地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用して審査

平成30年 第3回定例会 9月4日～28日



CV-22オスプレイの横田飛行場配備について(要請)

福生市議会では、平成30年8月24日にCV-22オスプレイの横田飛行場配備に対する要請文を国へ提出しました。

《要請文》

平成30年8月22日午後2時、国（防衛省及び外務省）において、今般、在日米軍から、5機のCV-22オスプレイを本年10月1日に横田飛行場に配備する旨の連絡があったとの内容を公表した。

本市議会では、平成30年7月19日を含め、これまで防衛省本省及び北関東防衛局へ要請行動を行い、CV-22オスプレイ配備計画や安全性に関する迅速で正確な情報提供を行うとともに、米国政府に対し、十分な情報提供を行うよう働きかけることを強く求めてきたところである。

しかしながら、現在も十分な情報提供がないまま連日飛行している状況に加え、今回のCV-22オスプレイの横田飛行場への正式配備日程の公表は、市民の騒音被害や事故等に対する常なる不安をさらに増大させるものである。

貴職においては、この状況を十分認識され、本市議会がこれまでに行ってきたCV-22オスプレイの配備及び運用に関する要請内容を改めて確認し、真摯に対応することを強く要請する。

平成30年8月24日

(提出先 防衛大臣、北関東防衛局長)

平成30年 第3回定例会
 平成30年 第3回定例会は、9月4日から28日まで会期25日間で開催され、15名の議員による一般質問が行われました。
 また、市長提出議案13件、報告1件が審議され、市民から提出のあった陳情2件のうち、1件は不採択、1件は継続審査となりました。

28日	26日	25日	21日	20日	19日	14日	13日	12日	11日	7日	6日	5日	4日	▼9月	会期25日間	
議会運営委員会	第3回定例会5日目	議会運営委員会	横田基地対策特別委員会	総務文教委員会	市民厚生委員会	策特別委員会	まちの魅力づくり対策特別委員会	建設環境委員会	4日目	決算審査特別委員会	3日目	決算審査特別委員会	2日目	決算審査特別委員会	1日目	決算審査特別委員会
第3回定例会4日目	第3回定例会3日目	第3回定例会2日目	第3回定例会1日目	第3回定例会4日目	第3回定例会3日目	第3回定例会2日目	第3回定例会1日目	第3回定例会4日目	第3回定例会3日目	第3回定例会2日目	第3回定例会1日目	第3回定例会4日目	第3回定例会3日目	第3回定例会2日目	第3回定例会1日目	

◆ 会議の開催状況と審議日程 ◆

- ◆ 一般質問(要旨) …… 2～4面
- ◆ 平成29年度決算審査 …… 5面
- ◆ 可決された案件 …… 6面
- ◆ 議案の審議結果 …… 7面
- ◆ 委員会の審査 …… 7～8面
- ◆ 行政視察報告・特別委員会活動 …… 8面

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、15名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は11月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、これまで掲載されていた一般質問通告一覧については、福生市ホームページに掲載しています。



(通告一覧へリンクします)

CV-22オスプレイ配備について

正和会
清水 義朋 議員



質問 5機のCV-22オスプレイを10月1日に横田飛行場に配備する旨の発表があったが、その対応について伺いたい。

市長 東京都と5市1町で直ちに対応を協議し、国と米軍に対して、これまで行ってきたCV-22オスプレイの配備・運用に関する要請を改

めて確認し、真摯に対応することなどを要請した。更に、私自身が防衛省本省に出向き、地方協力局長と面会し、安全性などの迅速で正確な情報提供を強く求めた。

[AEDのコンビニエンスストアへの設置について](#)

質問 年中無休で24時間営業のコンビニエンスストアへのAEDの設置が進んでいるが、状況を伺いたい。

市長 市内各コンビニエンスストア店舗に対し、説明会の開催や各店舗への訪問による協力依頼を実施し、現在、市内14店舗から協力の内諾を得ている。



▲AED（自動体外式除細動器）

小・中学校の塀の安全対策について

公明党
原田 剛 議員



質問 大阪府北部を震源とする地震により小学校のブロック塀が倒れたが、福生市における適合していない小・中学校の塀について、今後どのような計画で進めていくのか。

市長 学校の塀は、子どもの安全に係るため、緊急性が極めて高い。今年度中に、法に適合しないプロッ

ク塀や安全性が確認できない万年塀等を、安全なフェンスへ交換する等の対応を実施することとした。

[AEDの配備について](#)

質問 AEDの町会・自治会の配備状況について伺いたい。

市長 各町会・自治会に対し、平

成31年度のコミュニティ助成事業を活用したAEDの配備を行うことについて意向を伺ったところ、12の団体から配備希望があった。今後、申請を行い、交付が決定された際には、希望された町会・自治会に配備していく予定である。



福生市における児童虐待の現状と対応について

正和会
大野 聡 議員



質問 直近の相談件数の推移及び相談者の状況、相談への対応は。

市長 平成28年度は新規案件が22件で、29年度に新たに44件受理した。幼児期・学童期の子どもや多子世帯の事案が多い。相談があると、児童虐待防止マニュアルに基づき、子どもの安全を最優先に対応し、子ども

の状況によっては、児童相談所へ援助要請や一時保護をすることもある。

[児童相談所との連携について](#)

質問 日ごろからの連携や相談ケースでの連携について伺いたい。

市長 各会議へ参加しているほか、虐待疑義事案は児童相談所に相談し、

状況により援助要請を行っている。また、子ども家庭支援センター内の定例会に定期的に参加してもらうなど、日々連携を図っている。相談ケースでは、市の援助要請により訪問に同行し、専門的立場から協力をいただいている。



▲児童虐待防止啓発のリーフレット（厚生労働省）

福生市における平成29年の犯罪発生状況について

正和会
乙津 豊彦 議員



質問 近年、福生市における犯罪発生件数が減少しているが、市としてどのように評価しているか。

市長 平成29年の犯罪発生状況は452件で、発生件数が多かった平成16年と比較すると3分の1以下に減少している。福生警察署はもとより、市民一人一人の防犯意識の向上と地

域の皆様の協力の成果だと考える。

[社会を明るくする運動について](#)

質問 福生市では、社会を明るくする運動福生地区推進委員会を組織し、市長や一部の議員も保護司として参加しているが、その活動状況について伺いたい。

市長 罪を犯した人の更生について理解し、受け入れることができる社会を目指して、6月26日に本年度の福生地区推進委員会を開催し、機運の醸成を図った。7月2日には駅頭での啓発活動も行い、啓発物品の配布を行っている。



▲市内中学生による福生駅での社会を明るくする運動の啓発活動の様子

プラスチック系ごみの処理対応について

市民派クラブ
田村 正秋 議員



質問 中国政府が資源ごみの輸入を禁止し、国内の資源ごみ処理業者も作業が追いつかないとの報道があるが、福生市のプラスチック系資源ごみの処理対応について伺いたい。

市長 市では容器包装リサイクル法に基づく処理を行っており、適正な再商品化を図る仕組みが確立され

ていることから、今後の処理については影響がないと考える。

[熱中症対策の取り組み等について](#)

質問 今年は猛暑が各地を襲い、熱中症の患者が増えているが、福生市における熱中症予防対策等の取り組みについて伺いたい。

市長 防災無線や情報メール、チラシの配布のほか、出前講座における講話、乳幼児健診の際のうちの配布、高齢者宅を訪問した際の啓発等による注意喚起を行っている。また、打ち水イベントを実施し、暑さ対策の機運醸成を図っている。



▲7月に行われた打ち水イベントの様子

ほたる坂の倒木及び落石について

正和会
串田 金八 議員



▲ほたる坂の落石の様子

質問 一日も早く生活道路として利用できるように願いたい。改良工事の工期、工法と周知について伺う。

市長 ご不便等お掛けしているが、補正予算が議決されれば業者決定後速やかにコンクリート打設による補強工事に着手し、平成31年3月末の完了を目指す。現場の工事看板や近

隣住民へのビラ配布で周知する。

多摩川の河川氾濫について

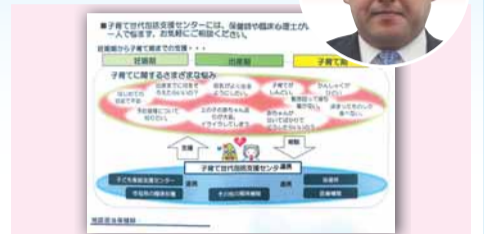
質問 西日本豪雨から本市が学ぶことは何か。また、平成19年9月の豪雨被害後の氾濫や浸水対策を伺う。

市長 現時点での検証結果から、ハザードマップの周知や市職員、消

防団の巡回広報による避難情報の周知、河川の水位の監視と迅速な状況把握を行う。平成19年の台風9号被害対策の低水護岸工事は、本市域の整備はほぼ終了した。本市地域防災計画に調布橋付近の水位で避難勧告の発令等を行うタイムラインを追加予定となっている。

子育て世代包括支援センターの現状と課題について

正和会
幡垣 正生 議員



▲子育て世代包括支援センターのリーフレット

質問 安心して子育てできる環境の充実を図るための取り組みと、今後の方向性及び課題について伺う。

市長 母子健康手帳交付時の保健師による妊婦全員の面接と支援プラン作成、臨床心理士等による市内保育施設等への巡回相談のほか、電話相談や来所相談対応を実施。統一指

針に基づく支援プラン作成で支援の必要性が明確になり、進行管理とプランの見直しで支援状況を確認できる。より有効活用されるよう周知し、より安心して子育てできるよう情報共有と継続支援を行う。産後ケアは平成31年度開始に向け準備している。

地域猫制度の今後の取り組みについて

質問 本制度をさらに推進するための取り組みについて伺う。

市長 モデル地区指定が充足しておらず、行政とボランティア団体が協働で地域猫制度を説明する予定。今後も広報等で市民に周知する。

コミュニティ・スクール委員会等の進め方について

正和会
武藤 政義 議員



▲コミュニティ・スクールの様子

質問 コミュニティ・スクールの学校運営協議会、準備委員会の具体的な会議の進め方について伺う。

教育長 会議の1つ目の役割は、校長の学校運営の方針を承認すること。2つ目は学校運営について校長や市教育委員会に意見すること。3つ目は教職員の任用に関して市教育

委員会に意見すること。以上が主な内容であり、これらの話し合いを進めている。

本市における不登校の状況について

質問 本市における不登校の状況について、推移も併せて伺う。

教育長 平成25年度の中学校の不

登校の出現率は、国や都が3%以下の時に本市は6%台であったが、平成26年度に不登校総合対策を策定し、都の事業の指定を受けるなどしてから、出現率が下降に転じている。多少の増減はあるが減少傾向となっており、平成29年度、中学校の不登校の出現率は4.53%であった。

福生七夕まつりの安全・安心対策及びごみ対策について

正和会
佐藤 弘治 議員



▲今年の七夕まつり

質問 熱中症やゲリラ豪雨等の安全・安心対策やごみ対策について、基本的な考え方と取り組みを伺う。

市長 救護所やミストつき扇風機の設置、水撒き等を実施。民踊パレードは小学生以下は短縮コース参加を依頼し、途中で中止の可能性も伝えた。救護室利用者は12名で熱中症

の疑いは6名。期間中6名が救急搬送された。ゲリラ雷雨発生時には直ちに民踊パレードを中止し来場者の安全を確保。ごみ箱を設置したほか、会場内や主要道路でごみを回収した。

まちづくりにおける緑と水の理念の活かし方について

質問 新しいまちづくりや公共施

設にどのように活かすのか伺う。

市長 道路緑化や街路樹育成、街角の小さなふれあい空間形成等の施策を進めつつ、市民、事業者への啓発や指導の充実、緑化推進に努める。公共施設やその敷地内の緑化と適切な維持管理で市民に身近な緑を確保していきたい。

介護者（ケアラー）支援の推進について

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



▲おれんじ・パークの看板

質問 ケアをする側の人（ケアラー）への支援は重要だ。所見を伺う。

市長 大きな課題であり、家族等の介護は多くの人々が遭遇する問題と認識している。ニッポン一億総活躍プランでも介護離職ゼロを目標の一つに掲げた。介護する側もされる側も人生に希望を持てるよう、「住み

慣れた地域で、安心して、心豊かに生活するために」の実現へ着実に取り組む。

家族介護者の支援について

質問 家族介護者への支援の取り組みについて伺う。

市長 情報交換や交流を図る機会

として福生市障害者等日中一時支援事業や家族介護教室を実施。認知症高齢者の介護者には「おれんじ・パーク」を月1回、「オレンジカフェふっさ」を偶数月に1回実施。認知症講演会も予定。家族介護者の相談支援は、地域包括支援センターと在宅介護支援センターで常時対応する。

公共空間の在り方について

公明党
青木 健 議員



▲七夕まつりのイベント会場として活用されている丘の広場

質問 本市における公共空間の在り方や活用について考えを伺う。

市長 公共施設には設置目的があり、市民会館などの公の施設は設置目的に合った使用を前提としている。庁舎のような公の施設ではない公共施設も公正、適正な管理に努めている。公共施設や公共空間は公益性や

公平性が使用の前提であり、一定のルールをもとに使用を許可することとなる。施設の性質や設置目的を逸脱しないことが公共施設の使用の基本的なスタンス、あり方である。

市役所庁舎、公有地等の活用について

質問 にぎわいの創出、地域の活

性化における市役所庁舎、公有地等の活用について所見を伺う。

市長 新たな視点で有効活用を考えることは、まちのにぎわい創出や魅力の向上という効果も期待される。施設の設置目的を逸脱しないことを前提に判断し、適正な管理に努める。

児童虐待への対応について

公明党
堀 雄一郎 議員



質問 児童虐待が疑われる場合の、子ども家庭支援センターと児童相談所との連携について伺いたい。

市長 虐待の通告が子ども家庭支援センターに入ると、センター内で緊急受理会議を行う。また、児童相談所との共有ガイドラインに基づき、子どもの安全確認を通告から48時間

以内に行うよう努めており、一時保護を要する場合などは、児童相談所への援助要請や、被害に遭った子どもの送致などの対応をしている。

自転車シェアリングの広域相互利用について

質問 他自治体でもシェアリング

の導入例が出てきたが、近隣自治体との連携について伺いたい。

市長 立川市及び隣接の計9市で構成する広域連携推進協議会が、圏域の観光名所などをめぐるツールとして、レンタサイクル事業の広域利用を提案した。立川市を中心に、各市の担当部署で検討している。



▲福祉センターのたっ☆クルポート（自転車の貸出・返却場所）

放課後の子どもの居場所を担うふっさっ子の広場の総括と課題

公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 最初に開設されてから10年が経過した、ふっさっ子の広場の総括と課題について伺いたい。

教育長 10年間で来場者や登録数が増え、サポーターの登録も多いことから、ふっさっ子の広場は市民に浸透していると考えられる。一方、子どもや保護者のニーズの多様化による

指導員の負担の増大や、サポーターの高齢化等の課題も出てきている。

福生市職員の障がい者採用について

質問 現在の「印刷文での出題に対応可能」「自力で通勤でき、介助者なしに勤務可能」という受験資格は、緩和すべきではないか。

市長 現在の募集職種は一般事務職で、通常の職員と同じ勤務条件のため、現時点では難しい面があるが、今後は障がいのある職員が働きやすい職場環境づくりとともに、受験資格の緩和についても、先行自治体などを研究したい。



▲ふっさっ子の広場の様子

子どもと子育て世代の定住化に有効な学校給食費の無償化

日本共産党
池田 公三 議員



質問 子どもと子育て世代の定住化対策として効果を上げている日の出町の次世代育成クーポン事業がある。子ども全員に毎月1万円のクーポンを支給するもので、学校給食費無償化を実質的に含む事業と考える。実際、0歳～14歳までの年少人口が増えている。福生市でも、クー

ポン券という形でもよいが、学校給食費無償化は、より効果的な定住化施策になるのではないかと。

教育長 教育委員会として、福生市の小・中学校の児童・生徒の就学に係る保護者負担の軽減を図っており、学校給食費については、経済的支援を必要とする家庭に対して、就

学援助制度等で支援している。定住化施策である総合戦略の教育施策分野において、学校給食費の無償化は施策として掲げておらず、また、定住化への有効性について教育施策のみで言及すべきではないと考えており、学校給食の無償化は実施しない。



▲給食の調理の様子

CV-22オスプレイの横田基地への一時的な立ち寄りについて

日本共産党
奥富 喜一 議員



質問 4月3日に国が公表したCV-22の配備スケジュールは間違いないか。また、7月5日以降行われている夜間訓練等の情報は、福生市に入っているか。

市長 配備スケジュールは、議員御指摘のとおり。離着陸に関しては、国からの情報を市ホームページで周

知している。離着陸以外の詳細については米側からは、運用に関することとあり、答えられないとのこと。

米軍トモダチ作戦での放射性物質の保管について

質問 在日米軍がトモダチ作戦で、横田基地に今年3月時点でも通常の

被曝限度を上回る固形廃棄物を保管しているとの情報があるが。

市長 国に確認したところ、今年5月時点で米軍が横田飛行場で保管している廃棄物の概要は、ドラム缶、木箱、段ボール箱が1個ずつで、放射線量の安全性は十分確保され、適切に保管されているとのこと。



▲CV-22オスプレイ（yokotajohoブログより）

ご利用ください！インターネット議会中継

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ（<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>）にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成30年第4回定例会は、12月4日(火)から21日(金)までを予定しています。

◆本 会 議(予定) 午前10時開会
12月4日(火)～7日(金)及び21日(金)

◆常任委員会(予定) 午前10時開会
12月11日(火)～13日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリンググループを導入しています。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでは本会議の生中継を放映しています。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

平成29年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを用いた一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算では、財務諸表、貸借対照表などを盛り込んだ決算説明書を主に、各部ごとに審査を実施しました。

審査方法については、本会議において17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託・審査されました。また、4つの特別会計決算については、建設環境委員会、市民厚生委員会に付託・審査され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

行政改革の特徴的な取り組みについて

問 特徴的な取り組みは。

答 歳入確保では、福生水辺の築校運営委託や保育園の園舎建て替え・改修工事等で国や都の各種補助金を活用した。また、広告業者とのタイアップで、婚姻手続早分かりブック「福生で始める暮らし」を本市の費用負担なく作成したほか、公民館で活動する子育てママサークルの協力を得て、ウエルカムベビーファイルキットを作成。道路予定地の一部でのイベント使用を無償で許可し、当該地区の活性化を図った。

多文化共生、外国人増の状況と取り組みについて

問 本市として、外国人の増加をどのように受けとめて、多文化共生を進

めてきたのか伺う。

答 市内に日本語学校が4校あることが外国人増の要因の一つと考える。29年度には、日本語学校に依頼して職員向け研修会を実施。留学生の動向や就労の意向等を正確に分析し、就労や定住に資する対策も考える必要があると感じるが、住民トランプも少なからずあり、十分に考え慎重に判断する。

自主防災組織に係る取り組み等について

問 各学校の避難所運営マニュアル事業や、防災訓練等について伺う。

答 26年度以降、避難所運営連絡会の個別の会議で避難所運営マニュアルの検討、意見交換を行い、29年9月には避難所運営連絡会の全体会を初開催して意識を底上げした。自主防災組織は、29年度

は30地区で述べ2449人が参加して初期消火や応急救護、防災機材の操作訓練を実施。総合防災訓練では、メイン会場の学校の児童・生徒の参加や地震体験指導等を実施。

マイナンバーカード申請サポートの状況について

問 29年度のマイナンバーカード申請サポートの実施状況と効果について伺う。

答 29年7月から11月にかけて24日間実施。サポート内容は申請に必要な写真の無料撮影と申請書の書き方の案内で、あとはポストに投函というところまでのお手伝いを行った。利用者数は775人で、高齢者が中心だった。利用者は、マイナンバーカード申請件数全体の39.2%、約4割で、サポートの効果があつたと考えている。

不燃残渣の資源化処理の状況について

問 不燃残渣を資源化処理するための委託を実施したが、その効果を伺う。

答 28年度までは二ツ塚処分場で埋め立てをしてきたが、29年度より、34トン分を埼玉県の再商品化事業者へ引き渡し、資源化している。埋め立て処分から資源化処理に切りかえたことで循環型社会の形成に貢献し、最終処分場である二ツ塚処分

場の延命化を図る。また、東京たま広域資源循環組合負担金のうち、搬入自治体で案分する埋め立て処分費の負担がなくなる。

輝き市民サポートセンター委託後の効果について

問 29年度から社会福祉協議会に運営委託しているが、どのような効果があつたのか伺う。

答 市民活動のさらなる活性化と、企画力のある市民活動支援を図るため、専門性と活動実績を持つ福生市社会福祉協議会に輝き市民サポートセンターの運営を委託した。これまで専門知識がなく開催できなかった、ボランティアに関連する講座を行うなど、新たな支援で活性化を図り、28年度比で利用者数5.7%増につなげることができた。

子育て世代包括支援センター開設への取り組みは

問 30年度の開設に向けた取り組みについて伺う。

答 庁内検討委員会及び実務担当者会議で、子育て支援実現のための課題整理やセンターの位置づけ、庁内連携の仕組み等を検討。また、全部署の保健師が集まり、妊娠届出アンケート見直しやアセスメントシート、支援プラン等の様式を検討した。さらにポスター、リーフレットを作成し、近隣小児科、産婦人科等へ

掲示、配布を依頼。ハード面では、LANケーブル配線工事を実施した。

入退室管理システムの内容について

問 熊川児童クラブでの国のモデル事業の内容と結果を伺う。

答 児童が学童クラブに登所及び降所した際にICカードをかざすと、保護者が登録したメールアドレスにメールが配信されることで、児童の入退室時間の管理ができるというもので、29年4月より利用している。延長育

成料の自動算定ができるシステムとなっており、児童の安全性の向上と保護者の安心等につながる。

公園への防犯カメラ設置工事の内容について

問 工事の内容と、29年度の進捗について確認したい。

答 犯罪を未然に防止する狙いから、起伏や樹木で死角が多い福生公園と、みずくらいど公園の入り口や死角に防犯カメラを設置。福生公園には4台設置した。福生公園は

禁止行為への苦情が多く、みずくらいど公園は、隣接する日光橋公園が防犯カメラ設置済みであること等も検討材料とした。設置には都の補助金を活用し、助成額は80万円である。

不登校児童・生徒用タブレットの内容と効果について

問 タブレット端末を活用したドリル学習の効果について伺う。

答 タブレット端末には、不登校の児童・生徒が、教科や単元を選び勉強ができるソフトが入っている。

る。また、このソフトには、学習の振り返りや先生への質問を入力することが可能で、児童・生徒の入力内容を担任が確認して返信するなど、コミュニケーションの道具にもなる。子どもたちはこのドリル学習を楽しみ、担任のコメントに学校とのつながりを実感できた。児童・生徒もいた。

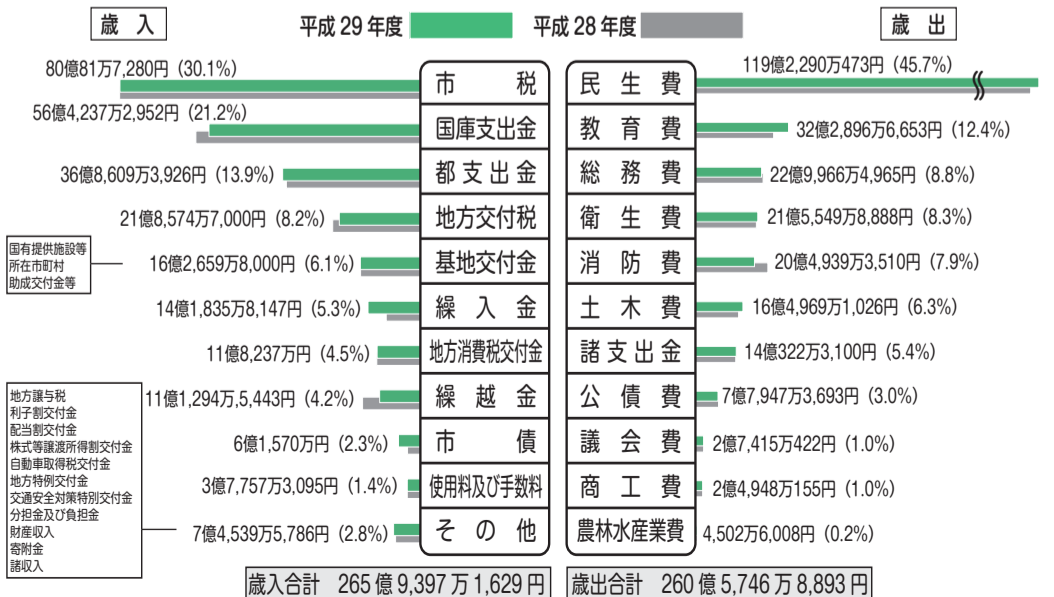


▲平成29年度一般会計決算を起立採決で認定

平成29年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額 (翌年度繰越額)
一般会計	265億9,397万1,629円	260億5,746万8,893円	5億3,650万2,736円
特別会計			
国民健康保険特別会計	82億2,221万9,677円	78億 93万3,211円	4億2,128万6,466円
介護保険特別会計	41億7,888万9,666円	39億3,861万5,833円	2億4,027万3,833円
後期高齢者医療特別会計	11億3,906万8,747円	11億2,712万1,918円	1,194万6,829円
下水道事業会計	16億1,600万2,932円	13億1,865万3,896円	2億9,734万9,036円
総合計	417億5,015万2,651円	402億4,279万3,751円	15億735万8,900円

平成29年度 一般会計決算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



可決された案件(要目)

◎全員賛成 △賛成多数

◎福生市議会議員及び福生市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法の一部改正に伴い、市議会議員選挙において、選挙運動のために使用するビラを選挙管理委員会に届け出た2種類以内、4千枚まで頒布できるとされ、条例の定めるところによりビラの作成について無料にできるとされたことから、新たに公費負担の対象として規定するもの。

◎平成30年度福生市一般会計補正予算(第2号)

歳入では普通交付税額の確定による増額、歳出では保育所運営事業及びせせらぎ遊歩道公園整備事業の増額などで、歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億6944万7千円を追加し、252億9795万4千円とするもの。

◎平成30年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成29年度決算に伴う繰越金並びに療養給付費等負担金等の精算等に当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億155万6千円を追加し、72億8561万3千円とするもの。

◎平成30年度福生市介護

50万2736円。

▽平成29年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

◎平成29年度福生市下水道事業会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、84億8681万1千円。歳入決算は82億2221万9677円で収入率96・9%、前年度比0・4%減。歳出決算は78億93万3211円で執行率91・9%、前年度比0・4%増。歳入歳出引残額は4億2128万6466円。

◎平成29年度福生市介護保険特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、42億3480万5千円。歳入決算は41億7888万9666円で収入率98・7%、前年度比4・7%増。歳出決算は39億3861万5833円で執行率93・0%、前年度比3・4%増。歳入歳出引残額は2億4027万3833円。

▽平成29年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正6回と繰越明許費を加え、歳入歳出268億9542万7千円。歳入決算は265億9397万1629円で収入率98・9%、前年度比0・4%減。歳出決算は260億5746万8893円で執行率96・9%、前年度比1・9%増。歳入歳出引残額は5億36

◎平成29年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を行い、11億4070万2千円。歳入決算は11億3906万8747円で収入率99・9%、前年度比0・2%増。歳出決算は11億2712万1918円で執行率98・8%、前年度比0・7%増。歳入歳出引残額は1194万6829

◎平成29年度福生市下水道事業会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正2回を行い、18億2564万1千円。歳入決算は16億1600万2932円で収入率88・5%、前年度比6・4%減。歳出決算は13億1865万3896円で執行率72・2%、前年度比13・8%減。歳入歳出引残額は2億9734万9036円。

◎市道路線の廃止及び認定について(一括議題)

当該路線は牛二公園の南側に位置し、市道第1006号線に接続する行きどまりの市道。このほ

ど、市道第1009号線の北側に接続する私道の所有者から寄附の申し出があったことにより、当該路線が通り抜けの市道となり、周辺市民の利便性等の向上に資するものであることから、当該私道部分を合せて市道として一体管理しようとするもので、道路法の規定に基づき、行き止まりの道路から通り抜けの道路へと道路の性格が変わることから、当該路線を一旦廃止して、新たに私道部分を含めた路線として再度認定するもの。

◎福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

佐藤正明氏の任期満了に伴い、引き続き委員として再任することに同意するもの。

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択
○学校給食費の無償化を求める陳情書(30、2号)

(不採択理由)
本市では様々な教育施策や児童・生徒の保護者負担軽減措置を既に図っており、学校給食費の無償化には継続的な財源の確保が必要であるため、意に沿い

討論

●平成29年度福生市一般会計決算認定について

反対
オスプレイの飛来等を回避する対策については、成果が見れば不十分であり、更に、学校給食費の無償化や公会計化の取り組みもされていない。

賛成
また、中小企業等に対する政策の抜本的な見直しについて評価できる取り組みはなく、公契約条例制定や公共料金等の負担の軽減についても市民生活応援の施策が不十分だったと言えることから、本決算に反対する。

そのほか次の議案に対しても賛成・反対の討論がありました。
●平成29年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

に導くことができたと理解している。また、教育施策では、福生市教育振興基本計画に掲げる基本方針の各事業が着実に遂行されており、本決算に賛成である。

福生市では、堅実な財政運営が図られ、将来に負担を残さない運営方針が維持されており、更に、地方公会計制度導入2年目にあたり、PDCAサイクルがより深化したものと評価する。

防災食育センターの完成や子育て施策の充実、また、教育行政では、特別支援教育の体制を確立し、他の自治体を牽引するものであり評価する。

以上のことから、本決算に賛成する。

まちの魅力づくり対策特別委員会第一回調査結果報告(概要)

まちの魅力づくり対策特別委員会では、新たな観光資源の創出として、富士見通りについて協議し、福生駅から国道16号線までをつなぐ富士見通りが、今後、福生市の新たなシンボルとなるエリアとなり、魅力あふれ安全で安心な通りとなることを期待し、次のことを富士見通り地区地区計画に盛り込むこと及びそのように推進することを提言する。

『富士見通りについて』に関する提言

- 【提言1】福生駅から国道16号線までのつながり
既に観光資源として確立している国道16号線沿いのベースサイドストリートとのつながりを意識したアメリカな街並みの形成の推進を提言する。
- 【提言2】統一的な意匠
意匠については、店舗、看板、歩道、ガードレール、街路樹など、個別で考えて計画するのではなく、全体的な統一感を意識し演出することで、魅力的な街並みの形成を図ることを提言する。
- 【提言3】安心して買い物及び飲食ができる通り
これから建築される建物の1階については、可能な限り店舗として活用されることを推奨し、できるだけ多くの人々が利用可能であるようユニバーサルデザインの理念を踏まえ、バリアフリー化することを提言する。
- 【提言4】撮影で使いたくなるような魅力的な街並みの形成
撮影で使いたくなるような魅力的なエリアとなるよう、統一のとれた景観の創造を提言する。
- 【提言5】魅力的な看板の設置
エリア内の看板については、英語表記を中心とした看板とすることを提言する。
- 【提言6】特色のある街路樹
街路樹については、アメリカな街並みに馴染むものとするを提言する。
- 【提言7】やさしいまちづくり
富士見通り沿道については、安心及び快適に買い物等ができるよう景観に合ったベンチ等を設置することを提言する。

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

市民派：市民派クラブ ネット：生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	市民派	ネット	議決結果
市長提出議案							
議案第41号	福生市議会議員及び福生市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	平成30年度福生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	平成30年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	平成30年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	平成30年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	平成29年度福生市一般会計決算認定について	○	○	×	○	○	認定
議案第47号	平成29年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	×	○	○	認定
議案第48号	平成29年度福生市介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	認定
議案第49号	平成29年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	認定
議案第50号	平成29年度福生市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	認定
議案第51号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

9月19日に委員会が開催され、5件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第2号)
(建設環境委員会所管分)

問 トイレのユニバーサルデザイン化について、もう少し詳しい内容を伺いたい。

答 福生駅東口公衆便所は、女子トイレが和式3基、男子トイレが和式1基、男子トイレが和式1基、小便器3基だが、改修により、女子トイレは車椅子対応1基、個室1基、男子トイレは車椅子対応1基、小便器1基となる。

問 多言語版観光イラストマップの冊数はどのぐらいを考えているのか。

答 英語が2千部、中国語が1千部、ハンブルグが1千部を予定している。

◇平成30年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 基金が安定して積み立てられているかどうか、状況について伺いたい。

答 若干の乖離があるが、ほぼ継続して基金の積み増しが行われていると言える。



▲市道第1009号線を現地視察

市民厚生委員会

9月20日に委員会が開催され、開会後、子育て世代包括支援センターの視察を行いました。その後、6件の議案を審査し、原案のとおり可決・認定され、1件の陳情は継続審査となりました。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第2号)
(市民厚生委員会所管分)

問 都による森と自然を活用した保育推進事業補助金の内容は。

答 森林、里山、自然公園等の自然環境における外遊び、動植物等の観察や採集活動、農業等の体験活動を補助する。

問 保育所運営事業、認定こども園の施設型給付事業、地域型保育事業予算が補正となった理由は。

答 賃金上昇分を見込み積算したが、平成30年3月に決定された公定価格では不足が見込まれるため補正予算で対応する。

◇平成30年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 前年度繰越金が4億円を超えたこと理由は。

答 平成29年度は、社会

問 東京都の水道管の移設でなぜ市が費用を負担するのか。

答 市の雨水管新設工事がなければ移設の必要性がなかったため、市から東京都水道局に移設依頼をし、その費用は、市が負担することになっている。

◇平成29年度福生市下水道事業会計決算認定について

問 雨水管渠更生事業の内容をもう少し詳しく教えてください。

答 本事業は、横田基地の雨水を排水するために布設されている管渠4路線の管更生工事となる。

問 下水道事業受益者負担金の収入滞りがゼロ円になっている理由について伺いたい。

答 対象者がいなかったということ。

◇市道路線の廃止及び認定について(一括議題)

問 市道要件を満たしていない私道はどのくらいあるのか。

答 市では把握していない。

問 介護給付費準備基金積立金の状況と使途は。

答 基金残高は5億4782万451円となる予定で、今後3年間で保険料上昇抑制のため2億5千万円を取り崩す計画である。次期介護保険事業計画でも、保険料上昇抑制に充てることを考える。

◇平成29年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問 収納率向上の取り組みは。

答 市税の収納率を下げないことを念頭に置きつつ、同じ納期であれば、国民健康保険税への充当を優先するなどの対策を講じた。

問 特定健康診査受診勧奨の内容は。

答 40歳代及び50歳代の未受診者に直接電話し、趣旨及び内容を案内したほか、受診券を紛失された方の再発行依頼を受け付けた。

◇平成29年度福生市介護保険特別会計決算認定について

問 総合事業開始による利用者等への影響は。

答 利用者への事前周知や丁寧な説明、事業者の協力により、円滑に制度

移行ができた。

◇平成29年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

問 保険料不納欠損額の最高額と最低額は。

答 最高額は40万8500円、最低額は5000円であった。



▲子育て世代包括支援センターを現地視察

総務文教委員会

9月21日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決され、1件の陳情は不採択となりました。

◇福生市議会議員及び福生市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

問 頒布できるピラの上限は市の人口規模による違いがあるのか。

答 指定都市では候補者1人につき2種類以内8千枚、指定都市以外の市では2種類以内4千枚となっている。

問 本条例改正の根拠となった公職選挙法の一部改正の目的は。

答 候補者の政策等や有権者が知る機会を拡充することを目的とする。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第2号)(総務文教委員会所管分) 問 市民会館舞台装置等改良事業の設計委託料の内容について。

答 冷水水発生機の冷却塔オーバーホール、受電設備・蓄電池の更新、各室のパッケージエアコンの更新、音響、照明装置等の更新等である。



▲舞台装置等の更新を予定している市民会館(大ホール)

問 消防団へ配備する備品の選定について。

答 東京都町村総合交付金、政策連携消防団活動の充実の対象の基準に照らし、消防団に必要なものを聞いて予算化。

問 ふるさと人づくりまちづくり基金への積立金平成29年度に比べて約10倍近く増えているが。

答 件数が平成29年度の同時期に比べて5件から13件に増加、また200万円の遺贈があったもの。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め6回開催されました。

議会運営委員会 行政視察報告

議会運営委員会の先遣市視察を報告します。なお、視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

視察目的 議会のタブレット端末導入について

視察先 ①千葉県木更津市 ②東京都多摩市

視察日 ①平成30年7月12日(木) ②平成30年7月26日(木)

①木更津市では、議会に先駆け執行部側で先にタブレット端末を会議で使用するために導入し、その後、議会側は「iPad」と会議システム「サイドボックス」の導入に至っている。このシステム以外にもスケジュール管理や連絡用、また、資料配布用に有料のグループウェアを導入している。

導入後は膨大な資料を持ち歩くことがなくなり、議会においてもほとんどの議員がタブレット端末一つを持ち、会議に出席

しているということである。紙の資料の削減もさることながら、議員の事務活動の充実・職員の事務的な労力の削減も大きいとしている。

②多摩市では、平成29年5月から議会側で「iPad」の導入が始まり、執行部側はすでに別の形で会議が行われているため導入がされていないということである。議会に対応する職員は様々な会議において資料作成、必要部数のコピー、議会側に持ち込み、議員に配付といった膨大な業務が必要であったが、タブレット端末導入により、職員は自席に居ながら対応するデータを送るだけとなり、通常業務をこなしながら資料送付できることは大きな効果とされている。

いずれの視察においても、議会側だけではなく執行部側の業務量の削減効果も大きいことが参考となった。



▲千葉県木更津市を視察

特別委員会活動から...

まちの魅力づくり 対策特別委員会

9月19日に委員会が開かれ、前回に引き続き今定例会最終日に審議予定の(1)第一回調査結果報告書(案)「富士見通りについて」の提言内容について最終取りまとめ及び新たな観光資源の創出について協議しました。主な内容は次のとおりです。

◇富士見通りについて 提言5「魅力的な看板の設置」については、エリア内は英語表記を中心とすることを提言。

提言6「特色ある街路樹」については、「アメリカン街並みに馴染む樹木を基本とし、樹木の単価や、維持管理、気候の適合性、道路や歩道幅員と樹木のバランスなど総合的に勘案し決定することを提言。

提言7については、休み処として景観に合ったベンチ等の設置を提言。標題は「やさしいまちづくり」とする。

また、一部提言順序の入れ替えを行い、富士見通りの最終提言案が決定しました。(提言については、6面に掲載)

◇新たな観光資源の創出について 「和の文化」については、新たに両酒蔵周辺の

無電柱化が提案された。

「洋の文化」については、地の利を生かした本場の英語体験や米ドルでの買い物など、洋の文化体験の場の充実を図ることが確認された。

「多摩川流域(沿い)の魅力づくり」については、従前どおりサイクリスト等を対象としたカフェやサイクルステーションの設置が確認された。

また、片倉跡地の活用として、平成36年(2024年)の福生消防署仮庁舎解体後、土地所有者の東京都と一体となって、熊川分水を活かした公園やサイクルステーション等を併設した道の駅などの経済効果につながる施設の検討が確認された。



▲市内を流れる熊川分水

「情報発信及び環境整備」については、前回同様、市内の企業、店舗等の体験型観光資源のインターネット情報を一元化し、分りやすく情報発信

することや駅周辺及び観光スポット周辺のWi-Fi環境整備の必要性が確認された。

横田基地対策 特別委員会

9月25日に委員会が開かれ、3件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地日米友好祭について 9月15日(土)及び16日(日)に開催された友好祭について、次のような報告がありました。

①入場者数は、14万5千人で、昨年の7万5千人を大きく上回った。

②市は横田基地に対し、友好祭における安全確保等について要請を行うとともに、市ホームページで来場者の利用駅の案内について掲載した。

2 横田基地に関する情報等について 6月15日から9月25日までの報告がありました。主な内容は次のとおりです。

①6月23日にCV-22オスプレイ4機が、7月4日に1機が横田基地に一時飛来した。その後5機は横田基地にとどまり、8月22日に国から、5機のCV-22オスプレイを10月1日から横田基地に配備することが公表された。

②7月と8月に、沖縄県への台風接近に伴う緊急避難で戦闘機や輸送機等が横田基地に飛来すると国から情報提供を受けたため、基地周辺5市1町から米軍に対して、市街地上空での低空・旋回飛行は行わないこと等の要請を行った。

③8月20日から24日にかけて横田基地において演習(サムライ即応監査)が実施されたが、航空機の運用は無かった。

④人員降下訓練が8月と9月に行われた。

⑤8月21日夜間に横田基地におけるエンジンテストが実施された。航空機騒音の苦情が2件寄せられた。

⑥9月25日に横田基地へのCV-22オスプレイの配備に関し東京都と福生市をはじめとする横田基地周辺市町から防衛大臣、外務大臣、横田基地司令官に対し、要請を行った。

3 国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について 総務省に対する要望事項等を協議しました。

編集後記

福生市の木に指定されているキンモクセイは、江戸時代に日本に渡り、オレンジ色の小さな花をたくさん咲かせることや甘い香りを漂わせることなどから、料理や菓子作りに使われることも多く、人々の生活に近いところで楽しまれてきました。9月議会が終わるころ、その香りが市内で感じられるようになりました。

9月議会では平成29年度決算審査も行われ、公会計制度を導入してから2回目の決算審査となりました。事業ごとに総括がされたことや、前年度との経年の変化も見ることでできるようなったことなどから、質問のポイントも変わり始めたように感じました。また、そうした質疑から、今後どのように各事業に取り組まされるのかなど、先を見た質疑もされました。こうした議論を重ねることで、決算の数字だけで評価するのではなく、事業の目的や手段、また、真に市民のための事業となっているのか確認していくことが大切だと思います。 本会議の傍聴だけではなく委員会の傍聴もできますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。